

# 直時の注意点は

V)の感染を防ぐワクチンについて、厚生労働めた。約8年ぶりとなり、多くの自治体では今チンにはどんな特徴があるのか。(後藤一也)

## 極的勧奨 再開へ

国内では「接種していない人でも同様の症状を訴える例が一定数ある」と報告された。ほかの国内外の研究

だが、この8年の間に、国内では「接種していない人でも同様の症状を訴える例が一定数ある」と報告された。ほかの国内外の研究

予防接種推進専門協議会種からしばらくして脱力や

積極的勧奨が再開されることを受け、厚労省は各自

16歳までに接種した人で、接種していない人に比べ、子宮頸がん発症リスクが88%低かったことが示

国が積極的勧奨を中止したのは、定期接種が始まってわずか2カ月後となる2013年6月。接種後に体の広い範囲が痛んだり、記憶障害が出たりするなどの「多様な症状」が報告されたためだった。

接種時の痛みや不安が、一時的な不調の原因になることがある。HPVワクチンの成分はウイルスの殻で、ウイルスそのものではない。殻だけでは十分な免疫がつかなく、免疫を活性化させるための成分をワクチンに加えている。免疫の反応で炎症が起き、接種部位が痛む場合がある。

悪くなった経験がある場合などは、横になって接種したり、接種後に十分休んだりして」と助言する。

岩田さんは「インターネットには正しい情報も正し

くない情報も混在し、不安を持つ人も少なくない。医師が接種時にワクチンの特徴や痛みの弱さを本人や保護者に丁寧に伝えることが大切だと指摘する。

# 痛み・不安が不調の一因に「十分な休息を」

Q 直腸肛門痛とは。 A 肛門の奥の方に痛みを感じますが、一時的にずーんと激痛が走る場合や、持続的に痛みを感じる場合があります。長く座っていると、痛く

Q 原因は。 A 痔など目に見える器質的疾患がない場合は、肛門を支配する神経が圧迫されて痛みを起しているか、肛門を

Q 珍しいです。陰部の神経が悪くなると、便秘などの排便障害が起きます。こうしたトラブルが、痛みの裏に隠されているのかもしれない。便通や水分摂取量などを振り返り、日常生活を見直すことから始めましょう。

Q 直腸肛門痛とは。 A 原因は。なるという人が多いです。

Q 治療法は。 A 炎症ではないので、一過性の痛みには消炎鎮痛剤などは効きません。陰部を支配する神経へのブロック注射や、筋弛緩剤などで治療します。

A 運動や、湯船につかり腰から下を温めるなどして、筋肉をほぐすのが有効です。座っていると痛くなる場合は、長く座るのを避け、椅子を変えたりしていただい

## 直腸肛門痛 原因や対処は

### 答える人



黒水 丈次さん

医療法人恵仁会 松島病院名誉院長 (排便機能科) 横浜市西区

質問には連絡先を。回答は紙面に限り。メール kenko@asahi.com 〒104-8011 朝日新聞科学医療部 ファクス03-3542-3217